

1. 調査目的

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、公園の利用者の動向と管理者側の対応について、管理の現場に携わる公園管理運営士会会員に対して調査を行い、併せて管理者側の意見を収集する。

2. 調査期間

令和2年3月10日～25日

3. 調査項目と回答

結果	何らかの利用制限		公園の閉鎖		屋内施設の閉鎖		イベントの中止		普段より利用者は			対象公園数
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	増えている	減っている	変わらない	
	65	15	1	79	53	24	75	3	42	33	5	公園数
	81%	19%	1%	99%	66%	30%	94%	4%	53%	41%	6%	割合

Yes と No の合計が 80 公園にならないのは、「なし」と回答があったため。

割合 (%) は 80 公園を母数としている。

4. 実状や意見等主な記述

(【 】内は北海道、東日本、中部、西日本、九州・沖縄の各支部の最初の文字)

■利用制限について

- ・インフォメーションセンターやオフィシャルショップを臨時休業。【北】
- ・2月17日以降該当イベントなし。【北】
- ・屋内でのボランティア活動を中止。【北】
- ・地域住民との協議会会議を中止。【北】
- ・冬季はスキー等の屋外アクティビティが主な利用になり、屋内で暖を採るための休憩スペースも必要だが、感染リスクが懸念され開放できないため、閉園としている。【北】
- ・大きな温室は通年営業をしているので、中止したイベントは温室内のモッコウバラの開花に合わせたコンサートと研修室で開催予定だった園芸講座。満室になるような申し込みがあった訳でもないが、中止としている。【北】
- ・温室への入館は、室内の蒸れを防ぐため換気をしていること及び温室が比較的大きな空間であることから特段の制限はしていない。【北】

- ・会議室、体育館、屋外施設のベビーゴルフ場も閉鎖しているが、これは管理者である県によるもの。
【中】
- ・飲食を伴う宴会等の利用を控えていただくようお願いしているが、人数の規模や宴会なのか、単なる食事なのか、内容について線引きすることが難しい。【中】
- ・花見の宴会等の自粛はお願いしているが、特別な利用制限はしていない。【中】
- ・主催イベントや寄席・茶会は中止。講習会もカリキュラムが決まっていたので延期。これは高齢者の参加が多いので、感染リスクをさげるため。【中】
- ・管理事務所（指定管理者）が主催するイベント7件を中止。【西】
- ・現在のところ、管理事務所（指定管理者）主催イベント5件の中止は、大阪府の指示（2月19日に指示あり）に基づくもの。また、管理事務所（指定管理者）主催イベント2件の中止は、管理事務所（指定管理者）の独自判断によるもの。【西】
- ・福岡県営公園のテニスコート、野球場、サッカー・ラグビー場の利用を禁止。【九】
- ・福岡市の近隣自治体による屋外運動施設の開園・閉鎖は異なっている（中止は大野城市、春日市、太宰府市。開園可は福岡市、筑紫野市）。【九】
- ・国土交通省及び厚生労働省からの指導により「新型コロナ」に対する健康管理について園内放送で呼びかけをしている。【九】
- ・福岡市の運動施設のキャンセル料は期間を指定し免除。【九】
- ・大濠公園（福岡県）の飲食施設（スターバックスなど）は開店している（施設設置許可による事業は保証しにくい、周辺民間施設への影響を懸念されている?）。【九】

■利用状況について

- ・屋外で雪遊びをする子どもはそれなりにいるが、国内外の観光客は激減している。【北】
- ・3月前半は昨年度と比較して来園者が増加している。【北】
- ・有料施設でも団体競技の野球は大会中止になり利用は減っているが、個人利用のテニスコートや児童園の利用は増えている。【中】
- ・平日でも多くの方が来園し、駐車場が満車になり、迷惑駐車が多くなってきている。【中】
- ・普段はあまり見かけない中学生の利用が大幅に増えた。【中】
- ・普段は公園に足を運ばないような利用者も多くみられるので、そういった利用者に対して公園の魅力をアピールする機会でもあるのではないかと思っている。【中】
- ・スポーツ施設においては、今月末までの団体利用のキャンセルが多くなっている。ただ遊具や芝生広場などは平日の日中でも、休日並みの利用がある。【中】
- ・屋外利用については利用者が増えているように感じる。【中】
- ・利用者については、海外の方はほとんどいない状態で、日本人が増えている。親子連れやお孫さんと来園する方が目立つ。【中】
- ・岐阜市のスポーツ施設が全面閉鎖のため、近隣である県営公園のテニスコート・サイクリング利用がMAX状況。【中】

- ・いままで見られなかった中学・高校生の公園利用が目立つ。【中】
- ・平日にも関わらず親子連れなどで2倍に近い利用者となっている。【中】
- ・野球場、競技場、庭球場、キャンプ場閉鎖により利用者が減っている。【中】
- ・市内の公園の利用（特に親子利用）が軒並み増加。【西】
- ・SNS等で公園が安全ということ書かれたりして、年齢に関係なくたくさんの方が来園。【西】
- ・テニスコートも朝早くから中高学生が受付に来るなど、今までにない光景が見られる。【西】
- ・福岡市は利用料金制度をとっていないためか、テニス・野球の中止命令はない。県営施設の使用禁止によって利用者が増加している。（新型コロナの感染予防の基準が異なっている）【九】
- ・公園の利用者（芝生広場、遊戯広場など）は通常の日曜・祝日並みの利用者。【九】

■考察等について

- ・公園はコロナウィルス感染を危惧する可能性が低いと認識されている。【北】
- ・学校も臨時閉校の中で余暇の過ごし場所として公園が選択されているためと思われる。【北】
- ・公園利用者の減少は、イベントの減少が主な原因と思われる。【中】
- ・花卉を鑑賞に来たり、公園を散策したりする来園者はさほど減っていないのではと感じている。【中】
- ・所管の自治体によって対応が異なっている。【中】
- ・利用が増えているのは、暖かい陽気が多いということもあるが、子どもの利用も多いため。子どもの屋外利用（公園利用）の欲求（親も含め）があるのではと思う。【西】
- ・屋内では受け入れることが出来ない市民の受け皿（居場所）となっている事が良くわかった。【西】

■不安、懸念等について

- ・施設利用者に高齢者が多く、臨時閉館期間が終わっても利用者数が減少してしまうのではないかと不安がある。【北】
- ・販売している花苗等の見ごろが過ぎてしまうなど、収益への影響にも不安を感じている。【北】
- ・富山県は、現時点で感染者が出ておらず、一部市町村の学校も再開している。もし感染者が出始めれば、更なる対策の強化が求められると思う。【中】
- ・マスメディアの報道は市民の外出に関して否定的な報道が目につくが、こんな時こそ癒しの空間として公園の積極的な活用を勧める報道をお願いしたいもの。【中】
- ・屋外の方が安全とはいえ、人口密度が通常より高くなっているため、そのような状況の中でどのようにコロナ被害の拡大防止を行っていくか日々考えている。遊具などは頻繁な除菌も行えないので、今のところは手洗いやうがいの奨励しかできないのでこのままでいいのか不安はある。【西】
- ・自主事業（自動販売機）の収入など多額の影響が大きい。支援の仕方が不明。【九】

■対応、対策等について

- ・この状況を受け、新規にペチュニアを400鉢揃え、フラリエコートで来園者に楽しんでもらおうと急遽ペチュニア祭を開催する。【中】

- ・いまこそ、生きもの観察や外遊びを推進すべきである。神戸市では期間限定の外遊び助成制度を作った。【西】
- ・「利用料金制」のため新型コロナの消滅後に、補助金が支給される予定（金額の程度は不明、施設利用による収入は月額 500 万円/月程度）【九】
- ・自然災害や有事のケースであるが、感染予防や消毒の対応により屋外の利用は各施設によって制約が異なる。公園運営管理者に任せてもらえないか。【九】

■総合的な意見等について

- ・不特定多数の方に来園してもらうことが公園活性化の一步になると考えるが、不特定多数の方を集めることを禁止する今回のコロナウィルス対策には考えさせられた。仮に今回のコロナウィルスが収まったとしても、又、その時期になって再発することもあるでしょう。私達は公園利用に焦点を絞ったコロナウィルスのもたらすハザードを正確に把握しておく必要があるようにも思う。【北】
- ・施設管理者として、感染拡大防止の観点からイベント等の中止はやむを得ないが、一律に中止というわけではなく、管理者としての最大限の対策を行い、可能なイベントや講習会は実施したいというのが意見。【中】
- ・コロナウィルスのハザードを皆で勉強する機会があれば良いなとも考える。検討頂ければ、ありがたい。【北】
- ・このようなアンケートは非常に良い取り組みかと思う。【西】
- ・公園がココロとカラダのために有為な場所である。また、公園での安全・安心な利用について、会としてのメッセージを発信して欲しい。【西】